

みやま市公共交通体系の再編について

1. 本市の再編方針
2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証
3. コミュニティバスの利用状況
4. みやま市の交通体系の役割整理
5. 今後のスケジュール

1. 本市の再編方針

- 本市の再編方針は、第1回会議において以下の内容で決議されました。

今後のみやま市の公共交通体系は、
コミバス(1号及び2号)と予約制乗合タクシー
の組み合わせを基本的な方向性とする。
(コミバス3号から6号の廃止は令和8年2月末を予定)

令和7年度第1回会議による決議事項 (開催日:令和7年4月23日)

2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

(1) 予約制乗合タクシー実証実験の概要

- 本市で実施中の予約制乗合タクシー実証実験の概要は、以下のとおりです。

↓ 今年度の実証

	第1期		第2期	第3期
実証期間	2024年 10/1～10/31	2024年 11/1～11/30	2025年 2/1～2/28	2025年 10/1～2026年 2/28
対象者	山川・高田地区にお住まいの方	瀬高地区にお住まいの方	山川・高田地区にお住まいの方	どなたでも利用可 (市民及び来訪者等)
乗降地点・制限事項	どこでも乗降可	どこでも乗降可	乗降の内どちらかが自宅または乗合場所	みやま市内全域 (どこでも乗降可)
運行業務委託事業者	市内タクシー事業者3社	市内タクシー事業者3社	市内タクシー事業者3社	市内タクシー事業者3社
運行曜日	月～土(祝日を含む。)	月～土(祝日を含む。)	月～土(祝日を含む。)	月～土(祝日を含む。)
予約受付時間	8:30～16:00	8:30～16:00	8:30～16:00	8:30～16:00
運行時刻(乗車時間帯)	8:45～17:00	8:45～17:00	8:45～17:00	8:45～17:00
運行台数	3台(セダン)	3台(セダン)	3台(セダン)	3台(セダン)
利用料金	一律300円	5キロ未満 300円 5キロ以上 500円	5キロ未満 300円 5キロ以上 500円	5キロ未満 300円 5キロ以上 500円
予約方法	電話・アプリ (3日前から当日60分前まで)	電話・アプリ (7日前から当日60分前まで)	電話・アプリ (7日前から当日60分前まで)	電話・アプリ (7日前から当日60分前まで)※
決済方法	現金のみ	現金のみ	現金のみ	現金、PayPay、みやまんコイン

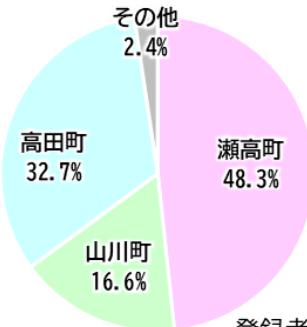
※土曜日の電話予約不可

2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

(2) 登録者の状況（※10月21日時点）

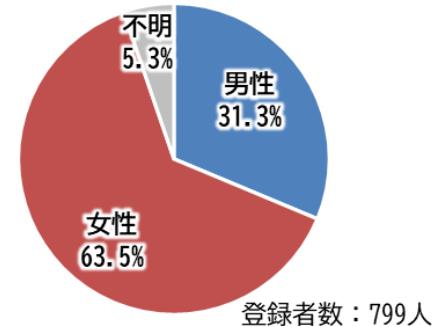
- 予約制乗合タクシーの実証実験を開始した2024年10月～2025年10月21日までに利用登録をされた方の総数は799人で、この人数は、みやま市の総人口に対する2.3%にあたります。
- 登録時期は、第1,2期(2024年9月～2025年2月)に435人が登録、その後、364人が新たに登録しています。
- 居住地比率は瀬高町5割、高田町3割、山川町2割で、属性は女性、70歳以上の割合が高いです。

【居住地】



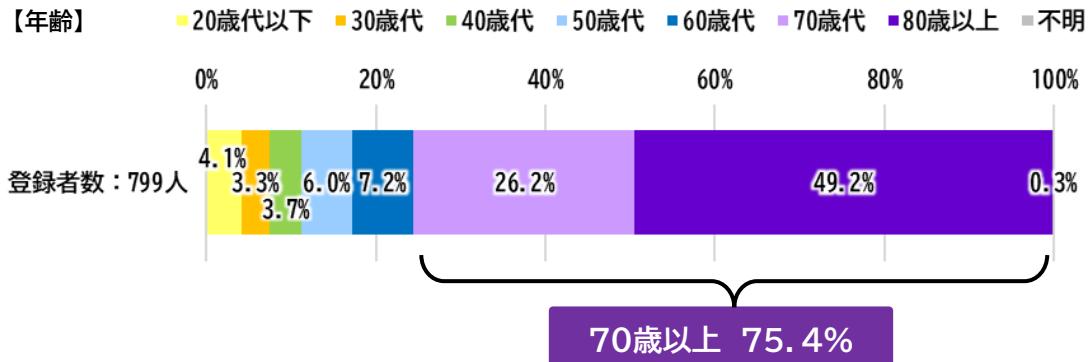
登録者数：799人

【性別】

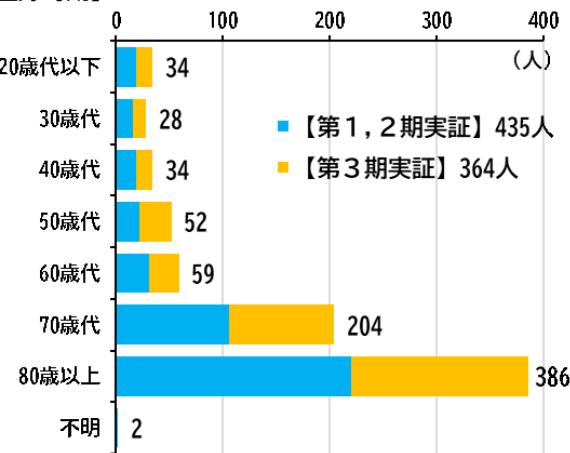


登録者数：799人

【年齢】



【登録時期】



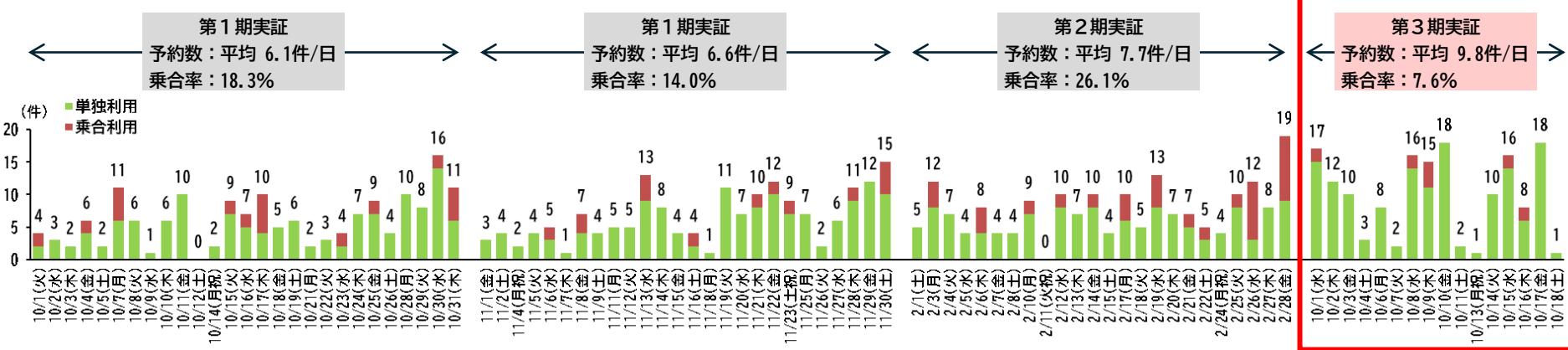
2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

(3) 利用状況（10月1日～18日）

乗合率…乗合利用の件数/総利用件数
12件/157件=7.6%

- 第3期実証の日あたり利用件数は9.8件/日であり、第1,2期実証時よりも増加しています。
- 一方で、乗合率は7.6%と第1,2期実証時より低くなっています。
- 第3期実証(16日間)に乗車されたユニーク人数は61人であり、市内全域を対象とした第3期実証では、広く多くの方々に利用していただけていることが確認できます。

【日別利用状況】



	運行時期	運行日数	運行地区	予約数(キャンセル除く)		乗車人数		利用者の居住地(ユニーク)				乗合率
				総数	日平均	延べ数	ユニーク数	瀬高	山川	高田	その他	
第1期実証	R6年10月	27日	山川・高田地区	164	6.1	198	50	2	19	28	1	18.3%
第1期実証	R6年11月	26日	瀬高地区	172	6.6	193	45	45	—	—	—	14.0%
第2期実証	R7年2月	24日	山川・高田地区	184	7.7	206	44	—	18	26	—	26.1%
第3期実証	R7年10月1日～18日	16日	市内全地区	157	9.8	167	61	33	10	18	—	7.6%

2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

(3) 利用状況（10月1日～18日）

- 瀬高町を中心に放射状に広がる移動や、瀬高町と山川町、瀬高町と高田町を結ぶ移動が多い傾向にあります。
- コミュニティバスのルートと重ね合わせてみると、コミュニティバスだけでは困難な方面への移動に利用されている様子もみられました。
- また、利用総数157件のうち約半数は、行きと帰りのどちらも利用されている往復利用でした。

【出発地域→到着地域】

■：地域内々の移動

瀬高町居住者	トリップ数	割合
瀬高町→瀬高町	68	76%
瀬高町→山川町	8	9%
瀬高町→高田町	13	14%
計	89	100%

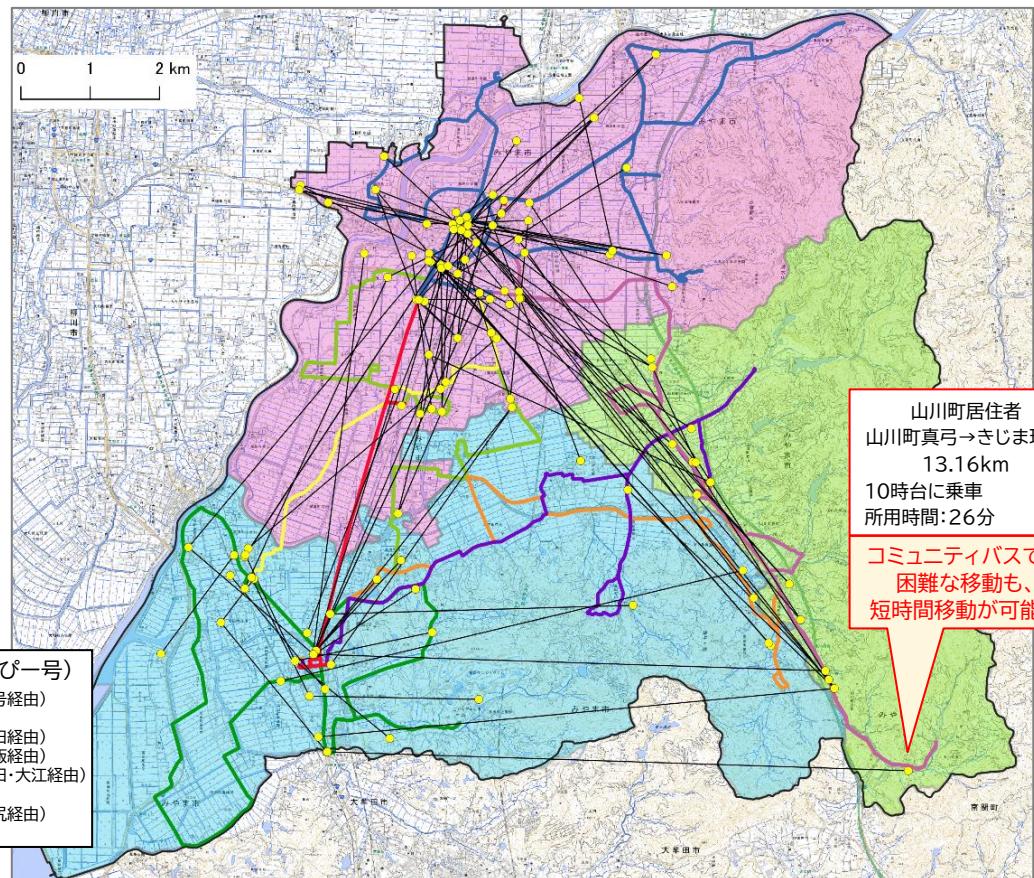
瀬高町と高田町居住者は
内々の移動が多いが、山
川町居住者は瀬高町への
移動が多い

山川町居住者	トリップ数	割合
山川町→山川町	2	7%
山川町→瀬高町	23	82%
山川町→高田町	3	11%
計	28	100%

高田町居住者	トリップ数	割合
高田町→高田町	23	58%
高田町→瀬高町	16	40%
高田町→山川町	1	2%
計	40	100%

【利用者の移動OD】

※利用総数157件のうち、往復利用のパターンは37往復(76件分)



2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

(4) 効果検証のポイント

- 効果検証のポイントは、昨年度実施した第1期、第2期の実証、そして今回の第3期実証までの経緯を踏まえ、実証期間中に運用面において見直しを行った事項に焦点を当て、以下5つの視点に着目した整理を行いました。

実証期間	第1期		第2期	↓今年度の実証
	2024年 10/1～10/31	2024年 11/1～11/30	2025年 2/1～2/28	
対象者	山川・高田地区にお住まいの方	瀬高地区にお住まいの方	山川・高田地区にお住まいの方	どなたでも利用可(市民及び来訪者等) ①
乗降地点・制限事項	どこでも乗降可 乗降の内どちらかは自宅	どこでも乗降可 乗降の内どちらかが乗合場所	みやま市内全域(どこでも乗降可) ②	③
運行業務委託事業者	市内タクシー事業者3社	市内タクシー事業者3社	市内タクシー事業者3社	④
運行曜日	月～土(祝日を含む。)	月～土(祝日を含む。)	月～土(祝日を含む。)	⑤
予約受付時間	8:30～16:00	8:30～16:00	8:30～16:00	
運行時刻(乗車時間帯)	8:45～17:00	8:45～17:00	8:45～17:00	
運行台数	3台(セダン)	3台(セダン)	3台(セダン)	
利用料金	一律300円	5キロ未満 300円 5キロ以上 500円	5キロ未満 300円 5キロ以上 500円	③
予約方法	電話・アプリ (3日前から当日60分前まで)	電話・アプリ (7日前から当日60分前まで)	電話・アプリ (7日前から当日60分前まで)	④
決済方法	現金のみ	現金のみ	現金、PayPay、みやまんコイン	⑤

※土曜日の電話予約不可

効果検証のポイント

- 対象者：誰でも利用可したことによる影響
- 乗降地点：みやま市内全域どこでも乗降可の影響
- 利用料金：5km未満300円、5km以上500円
- 予約開始日：7日前から1時間前まで予約可能
- 予約方法：土曜日の利用状況(電話予約不可)

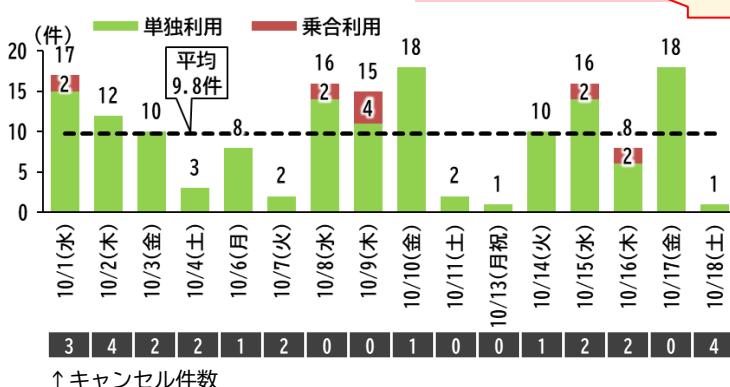
2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

1

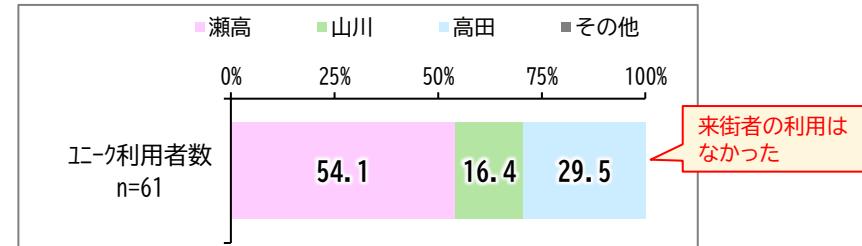
対象者：誰でも利用可としたことによる影響

- 利用者の居住地は、瀬高町5割、高田町3割、山川町2割であり、来街者の利用は見られませんでした。
- 日別の利用状況をみると、キャンセル件数も数件はあるものの、平均利用数は9.8件/日であり、乗合率は低い状況です。
- 日あたりの運行供給量(稼働時間)と現在の需要量を比べると、供給量にはかなり余裕があると言えます。そのため、今後、来街者の利用が生じたとしても、当面の問題はないものと推察されます。

【日別の利用件数】



【登録者と利用者の構成比】



■瀬高町居住者

利用登録者数：386人
利用数（のべ）：96件
利用数（ユニーク）：33人

■山川町居住者

利用登録者数：133人
利用数（のべ）：22件
利用数（ユニーク）：10人

■高田町居住者

利用登録者数：261人
利用数（のべ）：39件
利用数（ユニーク）：18人

■需要量(乗車時間の積上げ) 約 3時間30分／日※
※乗車時間が最大となった10/1の乗車時間の積上げ値

■運行供給量(乗合タクシーの稼働時間) 8時間15分×3台

需要量に対する
供給量は余裕あり

2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

2

乗降地点：みやま市内全域どこでも乗降可の影響

- 実績件数としては多くないものの、病院・商業施設・金融機関などの施設間移動に予約制乗合タクシーを利用している移動が6件ありました。
- 自宅以外の場所、かつ、どこでも乗降可の「ドアtoドア」で運行することによって、1回の外出で複数の用事を済ませたい方のニーズを満たす移動手段となり、予約制乗合タクシーの利便性が高まっているものと推察されます。

【施設間移動のイメージ】



【出発地と到着地】

	トリップ数
自宅→施設	74
施設→自宅	57
自宅↔番地	20
施設↔施設	6
計	157

【実際の利用者の移動パターン】



【施設間移動の乗降場所】

乗車場所	降車場所
道の駅みやま	前原整形外科
しまむら 瀬高店	ヘアーズ・ブロー
前原整形外科	グッディ 瀬高店
J A みなみ筑後 山川支店	東町簡易郵便局前
グッディ 瀬高店	アストラビスタ 下庄店
いすゞ自動車	MIYAMAX みやまっくす

【参考】主な目的地となった施設の種別

乗降地点となった施設	件数	割合
医療施設（病院・薬局）	47	30%
商業施設（道の駅・スーパー・コンビニ）	31	20%
市役所・市民センター	29	18%
駅	13	8%
銀行・郵便局・信用組合	8	5%
飲食店	0	0%
その他	29	18%
計	157	100%

【参考】主な目的地となった施設

地区	乗降地点	件数
瀬高町	アストラビスタ 下庄店	14
山川町	山川げんきかん	12
瀬高町	J R 瀬高駅	8
瀬高町	みやま市総合市民センター MIYAMAX	8
高田町	ヨコクラ病院前	8
瀬高町	前原整形外科リハビリクリニック	6
瀬高町	みやま市役所	5
瀬高町	福岡銀行 瀬高支店	5
瀬高町	ホームセンター グッディ 瀬高店	5
瀬高町	医療法人 明日香会 あだち医院	5
高田町	アストラビスタ 高田店	5

* 5件以上を抜粋

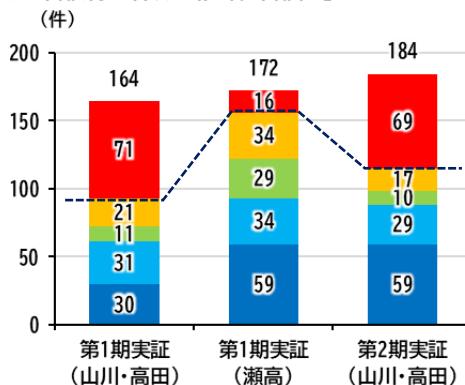
2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

3

利用料金：5km未満300円、5km以上500円

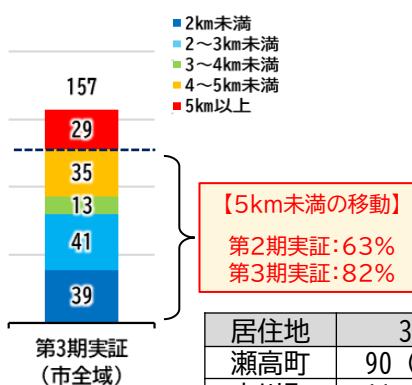
- 距離別運賃を導入した第2期実証と第3期実証をみると、第2期で6割、第3期で8割が5km未満（運賃300円）の移動でした。
- 居住地別にみると、瀬高町居住者は5km以上の移動（運賃500円）はわずか6%でしたが、山川町や高田町居住者は瀬高町居住者と比べると5km以上の移動割合が高い傾向にあります。
- ただし、距離別運賃は実際の移動距離ではなく、乗車地点から降車地点までの直線距離で判定されるため、直線距離での5kmは、移動距離にすると6~7kmとなります。

【利用距離別の件数（直線距離）】



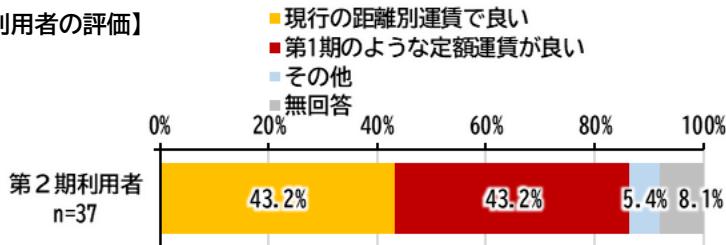
距離別運賃なし

距離別運賃あり



【5km未満の移動】
第2期実証: 63%
第3期実証: 82%

【利用者の評価】



山川・高田地域を対象に実施した
第2期実証時のアンケートでは、
距離別運賃に対する利用者の意
見は、半々

居住地	300円	500円
瀬高町	90 (94%)	6 (6%)
山川町	11 (50%)	11 (50%)
高田町	27 (69%)	12 (31%)
計	128 (82%)	29 (18%)

500円利用のユニーク数は
24人で、そのうち、20人は
複数回利用

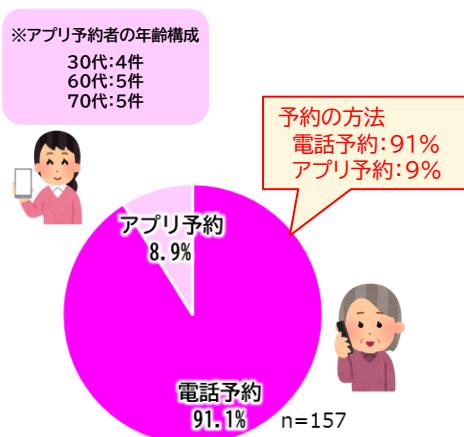
2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

4

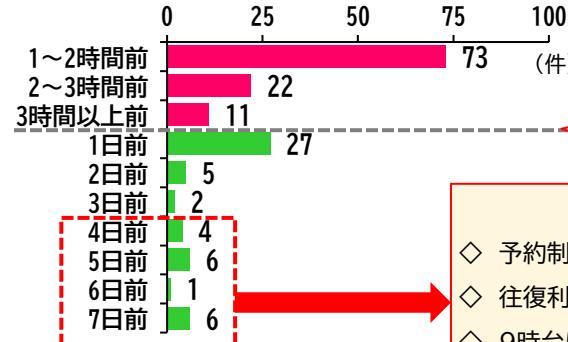
予約開始日：7日前から1時間前まで予約可能

- 予約の方法は、ほとんどの方が電話予約を行っています。
- 予約のタイミングは、当日予約が約7割となり、やはり外出する日に予約をする方が多く、当日のタイミングとしては、約半数の方が移動の1～2時間前に予約を行っています。
- なお、当日予約以外の方をみると、1日前予約が多いものの、なかには4日以上前から予約される方も1割程度はみられました。予約制乗合タクシーを何度も利用されている方や決まった曜日や時間に病院や買い物に行かれる方などは、確実な予約に向けてかしこく利用されている様子がうかがえます。

【予約の方法】



【予約のタイミング】



予約制乗合タクシーのご利用は、お電話又はアプリでご予約ください。

お電話で予約(ご乗車の7日前から1時間前まで)

☎ 0944-85-6565

※受付時間 月～金 8:30～16:00 (土日の電話予約はできません。)

■運用側の評価

予約受付の前倒しによって予約が分散化して作業負担が軽くなった。
(電話オペレーターヒアリングより)



予約のタイミング
当日 : 68%
当日より前:32%

<4日以上前から予約している方の特徴>

- ◇ 予約制乗合タクシーを複数回利用されている方
- ◇ 往復利用が多く、行きの便を早めに予約、帰りの便は当日予約の方
- ◇ 9時台に移動を希望する方
- ◇ 病院から(まで)の移動の方
- ◇ 同じ商業施設に頻繁に行く方

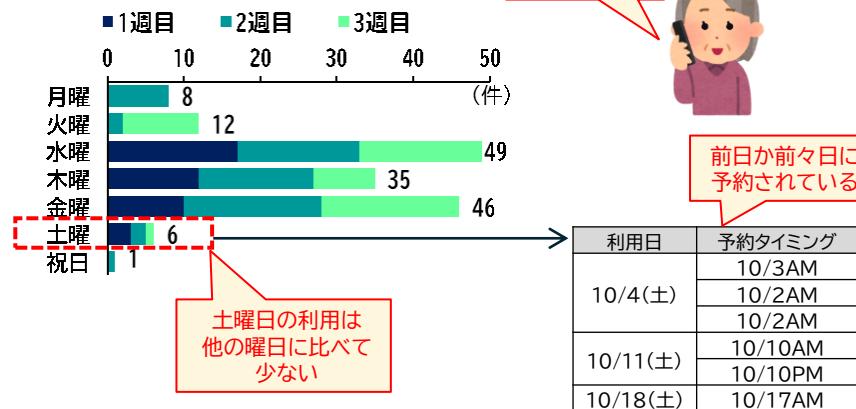
2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

5

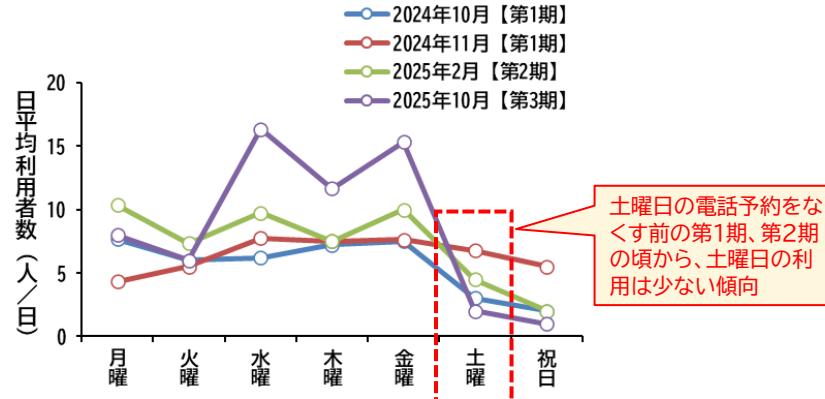
予約方法：土曜日の利用状況

- 第1期実証や第2期実証では、土曜日や祝日の利用件数が他の曜日に比べると少ない傾向にありました。土曜日は診察時間が午前中のみの病院も多く、予約制乗合タクシーの主な利用者層が高齢者であることを踏まえると、土曜日の外出需要自体が少ない可能性も考えられます。
- そこで、第3期実証では、電話オペレーターの経費削減を目指して土曜日の電話予約を不可とし、土曜日の当日予約はアプリ受付のみとしました。
- 第3期実証の利用実績をみると、土曜日の利用者数は他の曜日と比較して今回も少なく、土曜日に利用された方は前日か前々日に予約、中には行きと帰り両方の便を予約された方もいました。

【曜日別の利用状況（第3期実証）】



【曜日別の利用状況（第1，2，3期実証）】



予約制乗合タクシーのご利用は、**お電話**又は**アプリ**でご予約ください。

お電話で予約（ご乗車の7日前から1時間前まで）

☎ 0944-85-6565

※受付時間 月～金 8:30～16:00（土日の電話予約はできません。）



アプリ予約なら
24時間・365日予約可能

2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

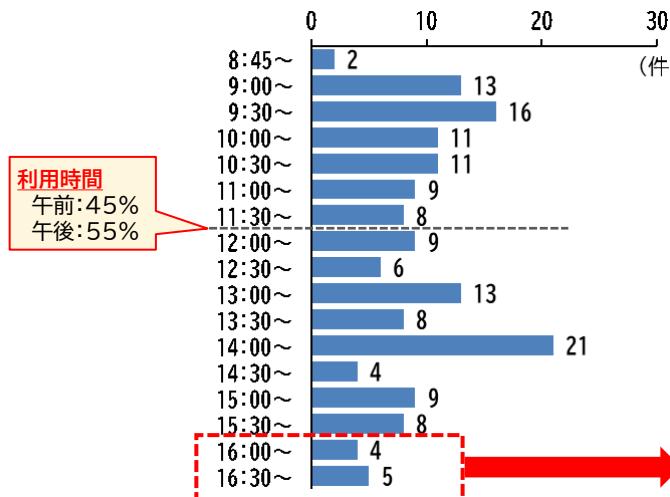
その他
検討

利用時間帯：運行時間帯の適正化

<検討の背景>

- デマンド交通は、地域の移動を支える大切なサービスとして持続可能なものである必要があります。そのため、利用が少ない時間帯があれば運行時間帯の適正化を図ることも重要であると考えられます。
- 第3期実証の利用状況を時間帯別にみると、夕方の16時以降は比較的利用者が少ない傾向にあることが確認されました。運行コストとのバランスを考えると、今後は予約制乗合タクシーへのニーズが少ない時間帯の運行については、検討する必要があると思われます。

【時間帯別の利用状況（第3期実証）】



運行日	2025年10月1日～2026年2月28日
運行時間	※運休日 日曜日及び12/29～1/3
	8:45～17:00

<現状>
予約受付：16時 運行終了：17時



<見直しイメージ>
予約受付：15時 運行終了：16時

2. 予約制乗合タクシー実証実験の効果検証

(5) 効果検証のまとめ

- 設定した5つのポイントとその他検討項目に対する検討結果を踏まえ、予約制乗合タクシーは以下の内容で本格運行に繋げていきます。
- なお、利用状況については引き続きモニタリングを行い、今後も必要に応じた見直し検討を行っていきます。

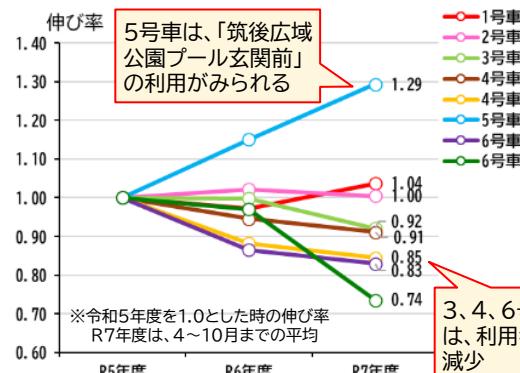
①対象者：誰でも利用可としたことによる影響	供給量には余裕があるため、車両3台での運行を継続し、 誰でも利用可を採用 とする。ただし、市民と来街者の利用バランスについては引き続きモニタリングを行い、必要に応じて、車両台数や車両サイズの検討を行う。
②乗降地点：みやま市内全域どこでも乗降可の影響	1回の外出で複数の用事を済ませたい方のニーズを満たす移動手段として機能しており、予約制乗合タクシーの利便性に寄与しているため、 みやま市内全域どこでも乗降可を採用 する。
③利用料金：5km未満300円、5km以上500円	5km未満300円、5km以上500円の距離別運賃について運賃協議会で協議・決定 ※コミュニティバスに合わせ、障害者手帳所持者は100円、300円の料金体系
④予約開始日：7日前から1時間前まで予約可能	実際に7日前から予約している方もいて、確実な予約成立に寄与していることから、 予約期間は7日前から1時間前までを採用 する。
⑤予約方法：土曜日の利用状況	土曜日の利用を予約する方に対してはオペレーターが往復予約を確認するなどの工夫を行い、影響を最小限にとどめることで、 土曜日の電話予約不可(アプリ予約は可能)を採用 する。
その他 利用時間帯：運行時間帯の適正化	16時以降は予約制乗合タクシーへのニーズが少ない傾向が見えるが、今後コミュニティバスの廃止による影響も踏まえて引き続き検証していく(土祝の運用についても同様)。
その他(電話等で寄せられた意見) ・市外まで行けるようにしてほしい ・病院に8:30には行きたいので運行時間を早くしてほしい	・予約制乗合タクシーは、市内の二次交通という役割であるため、まずは市内での安定運用を目指す。 ・運行時間の延長は運転手の確保や費用負担の観点から現状の時間帯で導入する。

3. コミュニティバスの利用状況

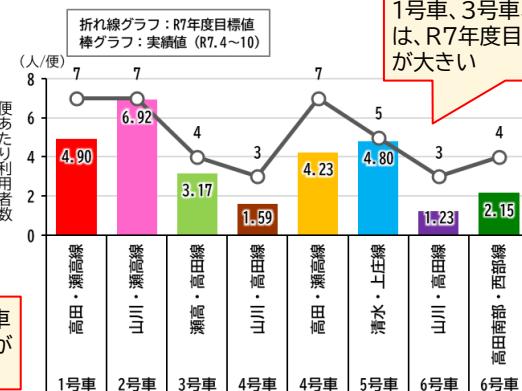
●コミュニティバスは、本年度第1回会議において、1号車と2号車は運行継続、3～6号車は廃止して予約制乗合タクシーへの転換を図ることになりました。

●ただし、本年度の利用状況を確認すると、廃止ルートの中にも一定数の利用がみられる便やバス停がありました。それらについては、運行継続する1号車・2号車の再編を行う際に、ルート変更やバス停見直しと合わせて検討を行ふものとします。

【月平均利用者数の伸び率】



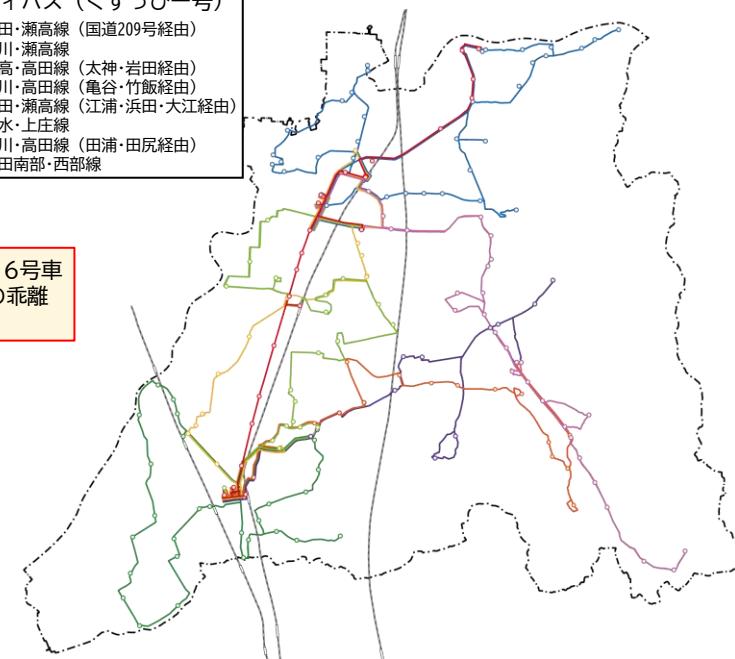
【便あたり利用者数】（R7年4～10月）



コミュニティバス 今後の方針	
1号車・2号車	利便性や費用面を踏まえ、運行継続（今後も改善を検討）
3～6号車	コミュニティ交通から別の交通サービスへの転換を図る

※令和7年度第1回会議による決議事項

コミュニティバス（くすっぴー号）	
1号車	高田・瀬高線（国道209号経由）
2号車	山川・瀬高線
3号車	瀬高・高田線（太神・岩田経由）
4号車	山川・高田線（亀谷・竹飯経由）
4号車	高田・瀬高線（江浦・浜田・大江経由）
5号車	清水・上庄線
5号車	山川・高田線（田浦・田尻経由）
6号車	高田南部・西部線



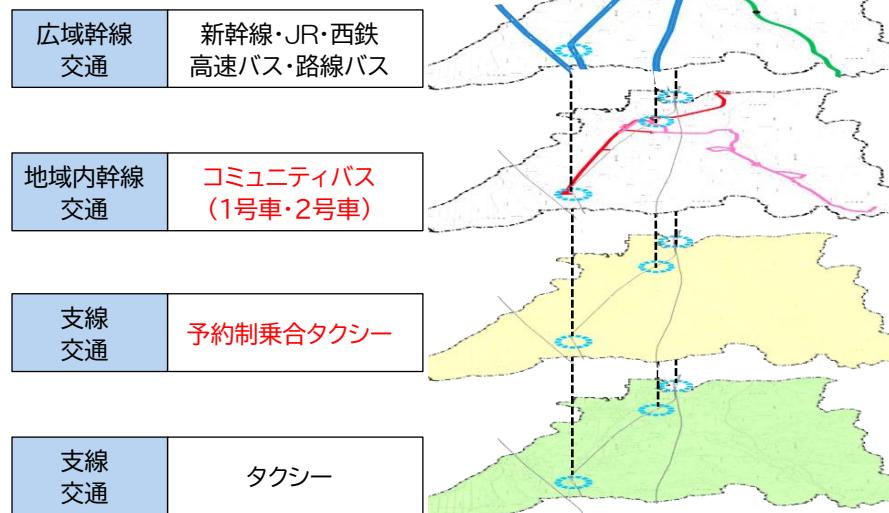
4. みやま市の交通体系の役割整理

- 2024年度に第1期・第2期実証実験を実施、さらに現在は、市全域を対象とした第3期実証実験を行っています。実証実験においては、利用実績の検証とともに利用者アンケートによる意向把握、また、出てきた課題の解消を目指した運用面の見直し検討なども行いながら、予約制乗合タクシーに対する利便性向上に取り組んできました。
- 第1～3期までの実証実験を経て、予約制乗合タクシーの有効性は確認されたものと考え、みやま市の新たな交通体系に予約制乗合タクシーを正式に位置付けて、本格的な導入に移行します。
- 合わせて、機能が重複するコミュニティバスについて3～6号車を廃止し、1号車・2号車は地域内幹線交通という位置付けで維持します。

【みやま市の交通体系の役割整理】

区分	交通モード	役割
広域幹線	鉄道・高速バス・路線バス	主として、市民の日常生活における市内外の移動や、観光・交流などの広域移動を担う
地域内幹線	コミュニティバス (1号車・2号車)	主として、市内の拠点間の円滑な移動、広域幹線の二次交通としての役割を担う
支線等	予約制乗合タクシー	市内各所から各地域の拠点や主要施設への移動、広域幹線・地域内幹線の二次交通としての役割を担う (コミュニティバスがカバーできないエリアの移動を支えるサービス)
	タクシー	上記での役割+上記では対応しにくい状況における移動を担う

【交通機関の階層的構造】



5. 今後のスケジュール

- 令和8年3月からは新たな交通体系での運行に移行します。
- 予約制乗合タクシーの利用定着を図りながら、コミュニティバス1, 2号車も含めた、みやま市の交通体系を維持していきます。

